



2022年11月1日

各 位

会 社 名 ローム株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 社長執行役員
CEO 松本 功
(コード:6963、東証プライム市場)
問合せ先責任者 IR 室室長 永吉 秀成
(TEL.075-311-2121)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 510,000	百万円 76,000	百万円 74,000	百万円 60,000	円 銭 611.38
今 回 修 正 予 想 (B)	520,000	90,000	105,000	80,000	815.15
増 減 額 (B - A)	10,000	14,000	31,000	20,000	-
増 減 率 (%)	2.0	18.4	41.9	33.3	-
(参考)前期実績 (2022年3月期)	452,124	71,479	82,551	66,827	680.62

(2) 修正の理由

世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻やインフレーションなどによる景気後退懸念があり、不透明な状況が続くものと思われま。エレクトロニクス市場においては、エネルギー対策としての省エネ化や電装化の促進、各国における工場の自動化・デジタル化投資などは順調に推移するものと思われま。一方でエネルギーや資材価格の高騰等による材料費や経費のコストアップリスク、製造に必要な希ガスや希少金属材料等の調達における地政学リスク、新型コロナウイルス感染症の再流行リスク等があり、予断を許さない状況が続くものと思われま。

こうした状況の中、ロームグループでは引き続き中長期での成長が期待される自動車関連市場や産業機器関連市場にロームグループが強みを持つ「パワー」、「アナログ」及び「汎用デバイス」を供給するとともに、安定した生産体制の構築に努めてまいりま。

このような状況の中、産業界全体の省エネ化及び自動車関連市場等の成長や期初想定以上の円安進行により2023年3月期の売上及び利益は期初の想定を上回る見通しのため、2023年3月期の通期連結業績予想を上記のとおり修正いたしま。

尚、下期の為替レートは、1米ドル=135円を前提としておりま。

<業績等の予想に関する注意事項>

この資料に記載されております業績等の予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上